

私の本棚

中央図書館新着図書

「犯罪者たち
罪にいたる病」
福島章著
(平凡社)



精神医学者の著者が、社会病理を象徴する犯罪者を分析。著者は、取り上げた事件の多くの犯人に精神鑑定を行っており、そのため生々しい分析になっている。また、本書は精神鑑定からみた現代日本の精神状況分析ともいえる。

一般書

◇ノルウェイの森(村上春樹) ◇最底辺(ギンター・ヴァラルフ) ◇一座建立(稲森道三郎) ◇愛と哀しみのマンハッタン(ジュティス・クラント) ◇「死への準備」日記(千葉敦子) ◇鍋の中(村田喜代子) ◇ロイズ(ゴドフリー・ホジソン) ほか

児童書

◇ことわざ絵本パート2(五味太郎) ◇エッチとなぞの怪盗アンパン(名木田恵子) ◇名前といわれ・昆虫図鑑(栗林慧) ほか
●10月のテーマ関連図書コーナーは「旅」です。
●親子読み聞かせ会は毎週金曜日午後2時30分から
●中央図書館の休館日は10月18日、22日、11月3日です。



長本地区にある赤沢集落は、山間地に位置し、長木沢の多くの谷川にまたがれて大館との往来はきわめて不便であったことから、ごく最近まで十二所や鹿角市の毛馬内との往来が盛んであった。赤沢集落の東方の岐路には、出羽三山の信仰と道標を兼ねた県内でも希な石碑がある。表面には、上部に梵字(アーク) 大日如来、右葛原/安政五(一九五八)

葛原越え

大館の歴史散歩

峠・坂
里の道 ⑦

佐々木孫左衛門/月山/湯殿山/羽黒山/午八月吉日/左毛馬内と刻字されている。この石碑が建っている地点から南(右)へ山越えする峠道が「葛原越え」と呼ばれ十二所の往来に利用された。十二所の市日には赤沢から薪炭などを運び、帰りには生ニシンなどの生魚を買いもとめ、「おもりながれ」と称して珍重したという。近世、赤沢を含む長木沢一帯は天然秋田杉の宝庫で、木出して賑いをみせた土地であり、赤沢には金・銅・鉛を産する鉱山があった。文政年間に佐竹家の金山役人杉原氏が集録した「秋田領内諸金山箇所年数帳」の中に、赤沢銅山について(十二所より壹里位、舟渡一箇所、山坂あり、

天然秋田杉の宝庫で、木出して賑いをみせた土地であり、赤沢には金・銅・鉛を産する鉱山があった。文政年間に佐竹家の金山役人杉原氏が集録した「秋田領内諸金山箇所年数帳」の中に、赤沢銅山について(十二所より壹里位、舟渡一箇所、山坂あり、



澤内嶮路にて、馬・駕相成不申候」という記述がある。赤沢銅山から産出された鉱物が人の背によってこの峠道を通り十二所に運ばれ、米代川を利用して能代まで届けられたというこの記録は、「葛原越え」が近世において「産業の道」であったことを示している。このように近世からごく最近まで、この峠道は赤沢と十二所とを結び「生活の道」「産業の道」として利用されてきたが、現在では県道大館・十和田湖線(十和田・大館樹海ライン)が整備されたことや車社会の発達により、一部が林道として利用されているのみで、いわば「忘れられた道」となっている。

市役所史跡探訪会

商工展

第8回 大館市郷土品まつり

農産物展

とき・11月1日～3日
午前9時～午後5時
ところ・市民体育館

▷木製品展 ▷健康と生活展
▷機械金属品展 ▷ハチ公展
▷食料品展 ▷誘致企業展
▷繊維品展
▷小工芸品展
▷伝統的工芸品展
▷黄金のふる里金細工展
▷林業展
▷大館コメまつり

とき・11月1日
午前9時から
ところ・卸売市場

▷青果・水産物の特価卸売
▷市民参加のセリ売り
▷お祭り広場(量目クイズ大会、ゲームコーナー、試食コーナーほか)
▷釈迦内小学校児童の特別参加
▷トランペット鼓隊・バトントワラーズ

卸売市場 市場まつり

働く婦人の家 婦人会館まつり

とき・10月31日～
11月1日
午前10時～午後4時

ところ・婦人会館

▷お茶会 ▷食堂
▷展示会(いけ花、アートフラワー、ししゅう書道、ペン習字、簾工芸、編物、リフォーム洋裁、家庭園芸、七宝焼ほか)
▷バザー ▷ダンスの夕べ(10月31日のみ)

期間中午前9時～午後4時

11月1日(城西体育館)
▷腕相撲大会 ▷とろろめし大喰大会
▷地区別演芸大会(10周年記念チャンピオン大会)
11月3日(農業会館)
▷農事発表大会
▷米消費者懇談会

11月1日～3日
(城西体育館)

▷農産物・果樹共進会
▷生活工夫展
▷園児・小中学生図画・書道展
▷ちびっこもちつき大会 ほか